

三原市立本郷小学校 第5学年 道徳科学習指導案

教材名：「通学路」

指導者 三原市立本郷小学校 T1 山本 美香
T2 溝上 孝弘

- 1 日 時 平成30年5月17日(木) 第5校時(13:55~14:40)
- 2 場 所 5年2組教室
- 3 学 年 5年2組(男子18名, 女子16名 計34名)
- 4 主 題 名 たいせつなきまり C 規則の尊重
- 5 本時のねらい 通学路を守らなかった「わたし」の姿を通して, ちょっとくらいなら大丈夫だという思いを乗り越えるために必要な気持ちについて考え, きまりを守ることを大切にしようとする心情を育てる。
- 6 教材名 「通学路」(「小学道徳 生きる力5」日本文教出版)
- 7 主題設定の理由

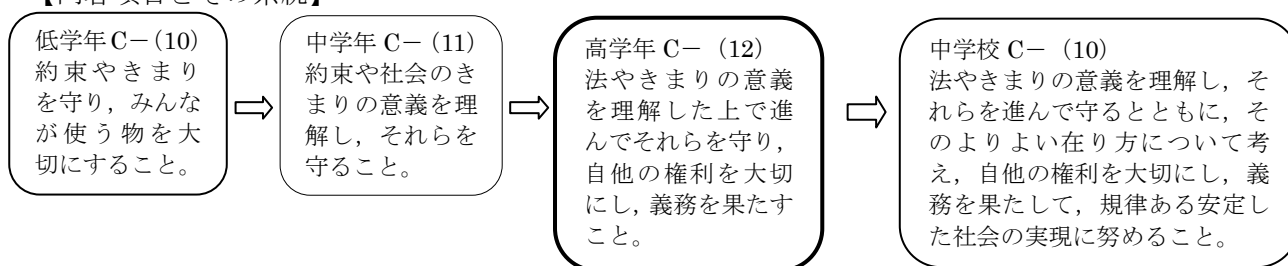
(1) 主題について

小学校学習指導要領解説特別の教科道徳編では「C 主として集団や社会との関わりに関すること」の(12 規則の尊重)の5・6年生指導内容項目の中で, 「法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り, 自他の権利を大切に, 義務を果たすこと。」を取り上げている。

人は社会的な存在であり, 家族や学校をはじめとする様々な集団や社会に属して生活を営んでいる。よりよく集団生活を送るため, 基本的なマナーや礼儀作法などのきまりを, 一人ひとりが守らなければならない。さらに, 自分のことだけでなく他者のことも大切にしたいと, やらなければならないことを進んで行っていくという考えを育成することが大切である。

児童の発達段階においては, 高学年としての自覚が少しずつ芽生え, 活動することが増えてくる。自分がやるべきことを行うために, 自分の思いを通そうとする場面もある。しかし, 自分だけでなく他の人のことも考えながら, 活動することの大切さを考える必要がある。そのためにも, きまりの必要性を考えた上で, 進んで守ることができるように指導していくことが大切である。

【内容項目とその系統】



(2) 児童観

本学級の児童は, 4月から高学年としての行動を意識している。朝会時には, 早めに行って座っておくことや, 6年生を助けるためにはどのように動くべきかなどを話し合い, 自分たちで目標を決めながら, 臨んでいる。しかし, 時間を決めていても自分たちで声をかけ合うことはまだ少ない。日頃の授業では, 着ベルで黙想をすることは分かっているが, チャイムが鳴るまで席に着かなかったり, 鳴っていることに気付いていながらも席に着くことができなかつたりする児童もいる。その様子に気付いていても, 声をかけられる児童も少ない。

児童に「きまりには, どんなものがありますか。」と質問したところ, 84.8%の児童が「廊下を走らない, 悪口を言わない」など, 学校でのルールを挙げた。「きまりは, どうして守らなければいけないと思いますか。」と聞くと, 「ケガをする, 命に関わる」などの危険だからという意見が57.6%, 「周りに迷惑をかけないため」「みんなが楽しく生活するため」という意見が39.4%であった。自分が安全に暮らすため, という思いが主であり, 他の人との関わりで考えている児童はまだ少数であることが分かった。そのため, どうしてきまりがあるのか, どうして守らなければならないか, ということを改めて考えさせていきたい。

(3) 指導観

本教材は、予定の時間に間に合わせようと通学路ではない道を通り、車とぶつかりそうになったところを友達に見られてしまう展開である。委員会活動で遅くなってしまった「わたし」は、みんなのために活動して遅くなったのだから、見つからなければ近道しても大丈夫だと心がぐらつき、通学路ではない駐車場を横切った所に車が現われ、急いで立ち止まろうとして転んでしまう。その姿を友達に見られ、心が痛んだ「わたし」の気持ちから、どうしてこのようなことになってしまったのか、なぜ決められた通学路を守らなければならないのかについて考えさせていきたい。

指導にあたっては、主体的な学びをしていくために、導入時に自分自身の生活場面をふりかえり、本時のねらいに対する課題意識をもてるようにする。さらに、展開では自己内対話をしながら自分の考えを道徳ノートに書かせる。その上で、改めて具体的な生活場面を想起させ、実践意欲を高めていく。

対話的な学びをしていくために、全体で話し合うだけでなく、ペアトークを取り入れて、友達の意見にふれさせる。中心発問における全体の話し合いにおいては、自分や他の人の視点から、きまりを守る大切さを多面的・多角的に考えさせていく。

深い学びをしていくために、教材の中から道徳的問題を自ら見つけ、問題解決的な学習で展開していく。中心場面においては、具体的な生活場面を想起させ、終末で導入時の話題をもとに道徳的価値について新たな発見や学びをふりかえらせていく。

◎研究テーマとの関係

【研究主題】

「誰もが学ぶ喜びと自信がもてる、主体的・対話的で深い学びの創造」

○主体的な学び

- ・導入時に道徳的問題にふれ、課題意識をもつ。
- ・自分自身との関わりでとらえ、考える。
- ・新たな学びを自覚する。

○対話的な学び

- ・協働し、対話する学び。
- ・多面的・多角的に考える。

○深い学び

- ・教師の指導方法の工夫により、新たな気づきや変容がある。

8 本時の展開

(1) 準備物

場面絵

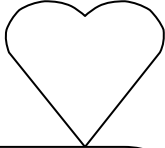
(2) 学習の展開

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	T1	T2	指導上の留意点 (※評価)
導入	1 「きまり」について今の自分をふり返る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">学校に来るまでのきまりはありますか？</div> <ul style="list-style-type: none"> ・登校班で並んで来ること。 ・通学路を通ること。 ・黄色の線の内側を通ってくる <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; flex-grow: 1;">きまりを守ろうとする心</div> </div>	板書	発問	<ul style="list-style-type: none"> ○「きまり」について意見を交流させる中で、本時の学習への方向付けを行う。 ㊦自分たちの日頃の様子を振り返らせながら、ねらいとする道徳的価値に対しての問いをもたせていく。


展 開	<p>2 教材「通学路」を聞いて話し合う。</p>	<p>「わたし」の行動のどこが問題だったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早く帰るために近道をしようとしたところ。 ・通学路を守らなかったところ。 ・友達に見られなかったら大丈夫と思ったところ。 <p>(いつも近道をしているのかな?)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日はたまたま近道をしただけ。 ・いつもは通学路を通るけど、今日は急いでいたから近道をした。 ・近道したいとは思っているかもしれないけど、普段は通学路を通っている。 <p>(どういう思いで、こういう風に近道をしたのだろう。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早く帰りたいから。 ・ちょっとくらい近道してもいいかな。 ・見られなかったら大丈夫。 ・いつもはしていないし、今日だけなら。 	資料提示 発問	資料提示 板書	<p>○T1, T2 で資料を読む。場面の絵を貼って、状況をとらえさせる。</p> <p>② 教材の中から、道徳的問題を児童が見つけ出していく。</p> <p>○主人公の行動を通して、共感的理解を深めていく。</p>
	<p>3 「きまりを守るために必要な考え」について考える。</p>	<p>「わたし」のような気持ちや思いをのりこえて、きまりをしっかり守ろうとするには、どんな心を大切にしていけばよいか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きまりを守ろうとする心。理由は、守らないと危ないから。 ・自分に負けない心。あとで後悔するし、きまりを守らなかったら自分のためにならないから。 ・人のことも考える心。理由は、他の人にも迷惑がかかるから。 <p>(他の人にも迷惑がかかるとは、どういうことですか。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の中で、事故に合いそうになった車の後ろに、他の車が並んでいたと書いていたので、関係ない人にも迷惑がかかると思った。 ・普段の生活でも、きまりを守らなかったらいろいろな人に迷惑をかける。例えば、通学路で道いっぱい広がったら、地域の方が通れなくて困る。 ・他にも、ふざけていて、相手にケガをさせたら、相手も困るし、家族の人にも世話をしないといけないから、迷惑がかかると思う。 	板書	発問	<p>② 道徳ノートに自己内会話をしながら、自分の考えを書く。</p> <p>○取るべき行動とともに理由を板書に整理し、どんな時でもきまりは守らなければならないという心に気付かせる。</p> <p>② 中心発問のあとペアトークを行い、友達の考えにふれる。</p> <p>② 自分や他の人の視点から、きまりを守る大切さを多面的・多角的に考えさせていく。</p> <p>② ③ 具体的な生活場面を想起させることで、実践意欲を高めていく。</p> <p>※きまりを大切にしようとする心情を深め、今後の生活に自分なりに発展させていこうとしたか。(ノート 発表 見取り)</p>

<p>終末</p>	<p>4 「きまり」に対する,自分の新たな学びを感じる。</p>	<p>今日の新たな発見, 学びについて, ふりかえりを書きましょう。</p>	<p>進行</p>	<p>○道徳ノートに新たな発見, 学びを書く。 ◎温めた価値を振り返りながら余韻をもって終わる。</p>
-----------	----------------------------------	--	-----------	---

9 板書計画



場面絵



きまりを守る心

自分に負けない
相手のことを考える
危ない
後悔する
自分のためにならない
他の人に迷惑がかかる
関係ない人にも迷惑

例えば
地域の人が困る
自分だけじゃない
相手
家族にも迷惑がかかる

わたし

- ・通学路を通らなかつた
- ・近道をした
- ・早く帰りたい
- ・見られなかつたらいいや
- ・今日だけ

通学路

きまりを守る心を守る心